

第7次本別町総合計画策定審議会（第7回）会議録

令和2年7月27日 18:30~20:00

役場3階会議室

✓	✓	✓		✓		✓	✓		✓		✓	✓	✓	✓		✓			✓	✓	✓	✓
杉臣会長	北谷職務代理者	松元委員	橋本委員	細田委員	畝地委員	朝日委員	井出直美委員	門田委員	新津初男部会長	平田委員	佐藤委員	井出壬午委員	本間委員	山下委員	国本委員	新津直子部会長	斎委員	菅原委員	寺林委員	小林委員	式見委員	今村委員
総務部会									産業建設部会						文教厚生部会							

1. 杉臣会長あいさつ

みなさんこんばんは。今日もお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本日は前回会議の案を踏まえて、将来像を確定していく段階となりました。どうぞよろしく願いいたします。

2. 経過報告

**事務局** ここからの進行は杉臣会長にお願いしたいと思いますが、会長は急遽、用務が入りまして1時間程で退席されますので、あらかじめご了解いただきたいと思います。それでは会長よろしく願いいたします。

**杉臣会長** そうしましたら次第の2、経過報告に入りたいと思います。事務局より報告をお願いします。

**事務局** 7月16日に第6回総合計画策定審議会を開催させていただきました。議案2ページ上段に審議会でのご意見を記載しています。「施策の数値目標を年次で示したらどうか」というご意見、「施策の検証について審議会を縮小した形で計画の進捗を管理することを検討すべき」というご意見、「施策の商工業の振興で企業誘致を明記すべき」という3点が主な意見であります。以上、経過報告です。

**杉臣会長** それでは次に次第の3、協議事項に移りたいと思います。まず、(1)第7回審議会の進め方について事務局よりお願いします。

3. 協議事項

(1) 第7回審議会の進め方について

**事務局** 審議会のご案内時に付けさせていただいたもので説明いたします。左側に青い四角囲みのあるものをご覧いただきたいと思います。1つめに将来像を審議、決定をいただきたいと思います。前回の第6回審議会提案で4つの事務局案を提示させていただきました。このことに関してご意見をいただきながら本日、決定をしていきたいと考えます。これまでの議論の経過といたしましては「総花的でなく、町民みんながそれに向かって一つになれるようなスローガンの将来像が良いのではないか」というお話をいただいております。

2つめに基本目標を審議いただきます。これも前回審議会でも5つの分類にしてお示ししております。1つの区分で4つから5つ程の案を提示させていただいておりますので、この中から良いと思うもの、また、審議委員さんのご意見で付け加えていただくものを含めて審議をいた

だきたいと思います。できれば、今回の審議会で決定していければと考えていますが、決まらなければ事務局で預からせていただいて、次回の会議で決定をしていきたいと思っています。

3点目です。基本計画(案)を審議いただきます。第6回審議会で配布の22の施策について審議、ご意見をいただきたいと思っています。ご意見については、施策毎に①から②まで進めて行きたいと思っています。本日につきましては、ご意見を承るということで、事務局としての考え方については、次回にお示しをしたいと思っています。この施策素案につきましては各課部局と協議を継続中でありますので、変わっていくということもありまして、いただいたご意見を各課部局とも協議をしながら進めて行きたいと思っています。前回審議会でいただいたご意見の数値目標の具体化、年度ごとの設定につきましても、今後、各課部局とも協議をしていきます。その点を含めましてご意見をいただきたいと思っています。目標値の設定については具体的にイメージできるような、わかりやすいことばを用いてゴールを設定していきたいと考えています。本日配布資料としまして、すくすくジャパンと表紙にあります「本別町子ども子育て支援事業計画書」をお付けしました。これにつきましては、個別計画の見本ということで、施策の部分で言いますと⑧子育て支援の充実の4点目、「施策に関連する個別計画名」という箇所には「本別町子ども・子育て支援事業計画」と記載されています。総合計画につきましては俯瞰(ふかん)的、高いところから見渡す感じで主な施策や重要事項について記載をします。例えばこれから必要になってくるバイオマス発電、牛、馬などの家畜糞尿を処理することにつきましては、総合計画では「バイオマス発電を建設します」という文言ではなく、「再生可能エネルギーの導入を推し進めます」「構築をめざします」となり、「バイオマス発電を建設します」という計画記載は、環境に関する、あるいは農業に関する個別計画で計画されると捉えていただきたいと思っています。その個別計画の参考として本日の資料を付けています。

なお、本日の会議時間を1時間30分としたいため、審議できない施策は次回、8月の会議にて審議いただきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

**杉臣会長** 今回の審議会の進め方についてご意見が無いようであれば次に進めたいと思いますけれどもよろしいでしょうか。

それでは協議事項(2)のあたらしい総合計画将来像(案)の審議・決定について入りたいと思います。事務局より説明をお願いいたします。

## (2) あたらしい総合計画将来像(案)の審議・決定について

**事務局** 議案の2ページです。前回審議会でお示しいたしました4点について掲載をしております。この中で良いと思うもの、また、委員さんの視点で一部のことばを変えるべきですとか、前回の⑪から⑬の審議員さんが考えた例えば「きらめく笑顔 あふれる幸せ いきいきほんべつ」が良いなどのご意見をいただきたいと思っています。決定いただいたもの、例えば①の「心あわせて 明日のほんべつを造る」に決まったとしますと、「明日のほんべつを造る」というキーワードは変えないで「心あわせて」を別なことばに置き換えたり、語路を良くしたりということを役場内組織の推進委員会で変えるというような若干の修正を加えるということが出てくることもあるかもしれませんが、基本的にはこの審議会で決定いただいたものを尊重していきたいと考えます。もし、変わるようなことがありましたら、審議会委員のみなさんにはご報告、ご承認をいただきたいと思っています。積極的なご発言をよろしくお願いいたします。

**杉臣会長** それではこの4つの案につきまして、何かご意見のある方はいらっしゃいますか。

**委員** ①の「心あわせて」のところの前に「きらめく笑顔」を付けて、「心あわせて」を「心ひとつに」にしても良いし、「明日のほんべつを造る」を「築く」に変えることを考えて来たのですけれど。

**杉臣会長** 「心あわせて」か「心ひとつに」の前に「きらめく笑顔」を追加するということです

ね。ありがとうございます。はい、どうぞ。

**委員** ちょっとカッコいいことばで洒落たものをと考えたのですが、以前に委員から出されていた、子どもでも分かるような、合言葉になるような意見があって、そのことを考えたら第5次計画の時の「いいひと いいまち いきいき ほんべつ」が封筒とかにずっと使われていて、これが合言葉みたいに語路が良くて耳心地も良いと。第6次計画のときには「次なるステージをめざして」といこうとで、これも良かったと思うのですが、「きらめく」とか「いきいき」とか「きらめかナイト」とか語路が良い。自分たちに耳馴染んだことばが良いのかと思って、「きらめかナイト いきいきほんべつ」みたいなサバッとと言えるような合言葉的なものが良いと思いました。

**杉臣会長** ありがとうございます。あまり長くなくて語路が良いものが良いのではないかといいことでした。他に何かご意見のある方はいらっしゃいますか。

例えば耳馴染みの良いことばという場合、この4つの案の場合、どれがそれに近いものか、あるいはどこかを修正したならば近いものになるのかなどのご意見もありましたら、お願いしたいと思います。どうでしょうか。

ちなみに事務局の方で候補にあがっている順序などはございますか。

**事務局長** これまでの皆さんのご意見から「きらめく」ということばは良いよねということで、イベントにも使用されていますし、町民の皆さまの思いを示しているのではないかといいことがありましたので、③番のベースが馴染み良いのではないかと。あまり長いのも良くないので「すてきな笑顔」を「みんなの笑顔」に置き換えて町民みんなのという意味合いにしてはどうかと話をしています。先程も複数の委員さんからご意見をいただいたように「笑顔」「きらめく」というワードが共通していると思いますので、もう少し煮詰めれば完成する所まで来ていると感じています。

**杉臣会長** 事務局としては③番をベースに何かを加えるのが良いかということですね。

**事務局長** そうですね。「みんなの笑顔がキラリと輝く きらめきタウンほんべつ」など、③番のことばを少し入れ替えることで考えていました。微調整ですので単語の組み合わせ次第といったところで、先ほどの委員さんの意見を加えてみることもしてみたいと思っています。

**杉臣会長** 私見なのですが、この案文は悪くはないと思うのですが、「キラリと輝く」と「きらめきタウンほんべつ」が「光」が重なっているのが少し気になったので、先ほどの「きらめかナイト」ということばが耳馴染みが良いのではないかといいことを受けて「すてきな笑顔 きらめかナイト ほんべつ」というように短くまとめるということも良いかと思っています。

他に何かご意見のある方は。どうぞ。

**委員** ③番ベースが崩れるのですが個人的には④番が良いかと思っていて、「いいね ほんべつ きらめかナイト」が覚えやすい語路かと思っています。以上です。

**杉臣会長** ありがとうございます。

ちなみにそれは全部ひらがなですか。

**委員** 決めていません。

**委員** 質問していいですか。将来像のことばというものは大事なかもしれませんが、下にある文章と10年後の姿は微妙に違うのですよね。この辺はどうするのですか。ことば遊び、ことば選びかもしれないのですが、将来像がきちんとあって、そこにことばをあてはめていかないと「きらめき」ということばが先行してしまうのであればどうなのでしょう。「きらめき」とは何かを理由が無いと。そこをきちんと作ることが、我々がイメージを一緒にすることが、話し合う土台なのかと思っています。それからもう一つ、読ませたいという事があるので、計画はきちんと行政のことばで作っていくべきと考えます。ただ、読む世代を考えたときに、計画を読む世代に合わせて、後から別に作るべきと。例えば小学生の教材と

してこの計画を小学生に分かるようなことばで作っていく。読んでもらう方法を別に考え、作  
るべきではないかと思います。計画自体はぶれないできちっと大人の人たちが読んで分かる計  
画を作っていくことが大事だと思う。その後の方法は色々有るかと思うのですが。

**杉臣会長** 今、言われていたことは10年後の姿像があって、次に町のイメージにつながるものが  
重要だということによろしいでしょうか。

**委員** それがスローガンになるのかと。例えば②番にある「ほっこり」とは何かということが、  
きちんと説明された文章が付いてこなければ。それが各項目に伝わっていかないと「ほっこり」  
の意味が出て来ないと思うのです。そういう意味では①番は将来像に合わせて文章化がされて  
いると思います。そこが一体になっていない中で、ことばで選んでしまっは大変なことにな  
るのではと思います。

**杉臣会長** ありがとうございます。10年後の姿像と将来像案がどのように結びついているのかに  
ついてご説明をいただけますでしょうか。

**事務局** ご意見ありがとうございます。ここに書いてあります、10年後の姿像につきましてはス  
ローガンと申しますか将来像案から主にイメージされるものを記載しています。①番であれば  
「持続可能」をキーワードとしていまして、財政状況が厳しい状況にありますし、地球的環境  
問題もありますので、持続可能を前面に出したものです。そこで次に基幹産業である農業で町  
の経済を支え、好循環していくということを掲載しています。②番の「ほっこり あったか」  
では地域福祉を前面に出した形になっています。本別では福祉でまちづくりを進め、自治会活  
動では支え合いもしっかりと行われていまして、第1回、第2回の審議会でも出ていました「人  
と人のつながり」ということが本別にはあるのではないかと、そして子育て支援体制と合わせ  
て福祉施策を進めていくことを表しています。③番では「きらめきタウンほんべつ」というこ  
とばが本別にとって馴染み深いということで、10年後の姿像に記載しているものは、安心・安  
全に生活をおくることができていることを中心に記載しています。高齢者などの交通弱者と言  
われる方々が医療機関の受診ですとか買い物に困ることがないような生活体系を維持してい  
くことが主に書かれています。④番は本町の基幹産業である農業が中心になって商工業、観光が  
盛んになっていく、町内循環を進めていくということを主に記載しておりますし、町民参加の  
まちづくりについても謳っています。

これらは将来像案のことばから連想される、強い部分を表現してございまして、この4点につ  
きまして、まちのめざすものということでは、どの将来像案にも後付けにはなりますが、当て  
はまってくると思います。これまでの審議会の議論の中では安心・安全な生活ですとか医療な  
どが受けられる、あたり前の生活を送れるようなまちづくりということが重要ではといった意  
見もありましたし、第5回、第6回の審議会では基幹産業などの産業を中心にまちが発展して  
いくという明るい未来の部分が出てきていると捉えているところです。それらのことからこの  
4つの案をつくってみました。

**委員** 漠然とした今の状況の中で今の大変革というか、コンパクトシティ化をしていく必要があ  
るのではないかと。今の勇足、仙美里、本別の街並みを維持していく、これから10年間、本当  
にそれでいいのかとの思い。やはり切り口も必要。これからの10年に問題提起をすることも必  
要ではないかと。そのようなことを言う場面も無いし、これまでも無かったし、10年後は本当  
に大変だと思う。これまでのまちを維持するということは大変なこと。夕張でも集約化という  
ようなことを色々やっているけれども、そのような切り口も10年後に向けて必要。やはり住  
民にも意識してもらっていったほうが良い。10年経ってどんな状況になっているのかも分  
からない情勢にあって、本当に厳しい時代になっていると思うので、少し考えていくべき時期だ  
と思う。集約化することでそこに住んでいる人には怒られるかもしれないけれど、その辺の切  
り口をもう少し考えて行くべきではないかと。

**杉臣会長** 私見なのですがけれども、ここ10年で今、お話があったように厳しい時代が来るかもしれないとなった場合に、町民が積極的に参加をしてまちを盛り上げていくというような事が大事になってくるということを踏まえると、先ほど委員からお話のあった「きらめかナイト」ということばであれば、皆さんが自発的に参加しないという意味合いが込められているという観想がありますので、このことばを入れることで町民の皆さんの参加を促すというような視点が出せるのかなと考えました。

**委員** このテーマに関して言ったのでは無くて、そのバックボーンとして。テーマについては私も前向きな方が良く、ネーミングとかことばの配分を考えながら行けば良いのではないかと。

**杉臣会長** この10年後の姿像を考える時にそういった視点が必要だということですね。

**委員** そうですね。

**杉臣会長** ありがとうございます。今のご意見に合わせて何かご意見がある方はいらっしゃいますか。(はい) どうぞ。

**委員** ①番から④番までを見て「あったか」ということばがありますね。これには色々な意味があると思うのです。例えば他から本別に来て町民がすごく温かく受け入れてくれたという、温かさということが、すごくこれから大事になってくると思うのです。なぜかという、先ほど別の委員さんの話にもあったとおり、これから5年、10年先がどのようになっているのか分からない状況だと思うのですよね。10年後に向けて途中で見直すこともあるのかかもしれませんが、来年、再来年にも見直す必要が出てくるのではないかと受けとめ方を私はしています。「あったかなまち」というのはどのようなことなのかという、例えばこの間テレビで放送されていましたが、シングルマザーが明日からどうやって生活して行こうかという状況で、仕事が無くなってそのような家庭が多くあると。ぜひ来てくださいと地方創生関係で我が地区でもやっていることですが。それを念頭に置いたときに、若い人が子どもさんを連れて、福祉のまち本別に来てくれるようになれば、すごく良いと思うのです。中々難しいことではあるのですけれども真剣に考えて、「あったかなまち」ということを掲げて出来ないかと思いました。どんどん人口が減っているの、1人でも増やす方法を考えたい。

**杉臣会長** 外から人が来やすいまちづくりというような意味であったかい社会ということによろしいでしょうか。

他に何かご意見はありますか。(はい) どうぞ。

**委員** 総合計画は単純な標語づくりだというイメージでいました。総合計画の表題と中身とありますが、中身は後からでも作れるのかなというところで、皆さんのこれまでのお話から①番と③番を合わせて「心合わせて 明日をつくる きらめきタウンほんべつ」とか「心合わせて 未来をつくる きらめきタウンほんべつ」というのが語路が良いのではといったところです。

**杉臣会長** ありがとうございます。「きらめきタウンほんべつ」ということばは、様々なところで耳にする耳馴染みがあると思います。他に何かご意見のある方はいらっしゃいますか。(はい)

**委員** 10年後のことを考えたときに住民がどうなっていれば良いのかとなったときに、やはり、笑顔でいられることが、たぶん他のまちからみても「本別はすてきだな」と思われるので、できれば「笑顔」を入れたいと思って、笑顔といっても色々な笑顔があるので、みんなの笑顔があふれるように、そして「きらめく」だとかの馴染みあることばを合わせて、③番を少し変えて「笑顔あふれる きらめくほんべつ」とまとめたら良いのかなと思います。

**杉臣会長** ありがとうございます。他にご意見はありますか。色々な意見が出た中でひとつに絞ることが今日は難しいのではないかとと思うのですが、何か統合していくというような意見はありますか。

事務局でこれまで出た意見を要約して提示することは可能でしょうか。

**事務局長** 先程、委員から意見があったように総合計画の表紙に記載される将来像は、冊子の内

容からの積み上げで、最後にみなさんに協議いただいた結論が生み出された形で、一冊にまとめた時にことばで表したらこうなりました。というのも一つの手法だと思います。私共が提案したのは最初に10年後のイメージを決める事で、「みんなの笑顔が輝く」だとか「瞳が輝く」「いきいきしている」「希望あふれる子どもたちの姿」など、10年後の姿を一つ置いて、そこから次につながる施策を作るといことが今回の手法、入り口論です。もう一つに、これまでのご意見にありましており、10年後の状況は厳しいもので、自立に向けた取り組みも必要ということで、最終的に施策としてどんどん絞って行って、これらのことを一つのことばで表すとしたらこうなるというものもあると思います。決してテーマがないとこの施策ごとの議論に入っていけないということはありません。テーマが決まることによって進みやすいということもあろうかと思っています。

今、会長がおっしゃったように委員さんからも多くの将来像案をいただきましたので、予定では本日、決定したいと考えていましたが、せっかくご意見をいただいたので整理させていただきます。事務局の感じといたしましては、もう少しで完成のところまで来ていると考えますので、もう少し時間をいただいて次の審議会までに先に将来像を決めていくのか、最後に決めていくのかも含めて次回の審議会にご提案させていただきたいと思っています。

**委員** 手法については理解しているつもりです。ただ、笑顔にはこういう思いがあるということがここに付いて来ないと。将来像もそうですよね。こういう思いだとか、こういうまちづくりをしたいだとかを表すことばと将来像がくっついていかないとバラバラになると思うので、そこに気を付けてことばを選んだら良いかなと。それから前回の研修でSDGsについて学んだことが入って来ているのかについても疑問がありますね。そこの関連性ですね。だから①番の地球環境だとか次世代だとか、それが10年後だと思うのですよね。10年後を見据えているのかなということが気になる感じです。

**杉臣会長** 皆さんの意見を踏まえまして事務局から案を提示いただくことで、今回の審議はこれで終えることでよろしいでしょうか。(はい) それでは次の協議事項に移りたいとおもいます。(3)のあたらしい総合計画基本目標(案)の審議について説明をお願いします。

### (3) あたらしい総合計画基本目標(案)の審議(決定)について

**事務局** 議案3ページになります。あたらしい総合計画基本目標案ということで5つに分類しております。将来像が決まって、それに合わせた内容で決めていく予定でありましたので、例えばローマ字数字Ⅰの農林商工観光について4点あげています。先程、保留させていただきました将来像によって、まちづくりのイメージが変わってくると思いますので、この場につきましては、前回に確認させていただきました、「農林商工観光」「健康・医療・福祉」「衛生・インフラ・防災・環境」「教育・スポーツ」「行財政・男女参画・若者活躍・交流」の5つの区分で良いかの確認と語尾の統一の確認をさせていただきたいと思っています。語尾については「まちづくり」「何々するまち」というような2つのうちどちらかで統一して整えて行きたいと考えております。また、例えば「笑顔」ということばを必ず含めるですとかのご意見をいただければ、将来像と合わせて検討していきますので、発言いただきたいと思います。

**杉臣会長** そうしましたら基本目標案につきましてご意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

**委員** 将来像が決まらないとここは決まらないということで、この資料に付いていることばが合うか考えては来たのだけれども、将来像が決まらなければ、この内容も変わってしまうということでしょうか。

**事務局** そうです。基本は変わって来ないと思うのですが、若干変わってくると考えます。もし、考えて来ていただいたものがあるのであれば、事務局のヒントにしていきたいと思っています。

**委員** 将来像に合わせてこの内容を変えるというのであれば、最終的に農業に関することばではなくて、将来像が決まって、それに対して農業であれば農業に関することばになってくるということが良いか。

**事務局** 例えば将来像が持続可能な内容となって、細く長くという形で行くとなれば。

**委員** 特段合わせなくても良いのではないか。それはざっくりばらんに将来像のことばであって、この項目に関してはそれに沿ってということでも無くても良いと思う。

**事務局** そうですね。ただ、この基本目標があまりにもキラキラしたもので将来像が地味なものになった場合、ギャップが生じると思っているのですけれども。

**委員** そうであれば今回はやらないということなんだね。

**事務局** そうしたいと。

**事務局長** 将来像が決まってくればこちらのほうも若干、うごくおそれがありますので、もしご意見をいただくとするならば、ことばの止め方、「何々するまちづくり」あるいは「何々するまち」というパターンで行きたいと思います。例えばⅠ番の農林商工業関係で言えば「②活力と賑わいのあるまちづくり」あるいは「③元気な笑顔を生産するまち」の2パターンで4つ程案を示させていただいておりますけれども、これが将来像が決まった段階でそれが馴染むような、サブテーマといいますか、例えば農林商工業の振興に本別町としてこの10年間、「①活力ある産業を創造するまち」とのワンフレーズで表したいとか。それよりももう少し分かりやすく「②活力と賑わいのあるまちづくり」の方がイメージしやすいのではないかといいところは、ご意見をいただきながら進めていきたいと考えます。基本的には「何々するまち」「こういったまちづくり」ということばとしていきたいのですが、その他にご意見があればということですよ。

**事務局** もし考えて来ていただいたのであれば、ぜひいただければと。

**杉臣会長** つまり、区分と何か入れたいキーワードがあればということですよ。その2点についてご意見をいただければ。

それでは特にご意見が無いようでしたら次に進めたいと思います。そうしましたら(4)のあたらしい総合計画の基本計画案の審議について事務局からお願いします。

#### (4) あたらしい総合計画の基本計画(案)の審議について

**事務局** それでは第6回審議会でも配布させていただいた22の施策について施策毎にご意見をいただきたいと思っております。下段にSDGsが記載されています冊子になります。前回の審議会でも商工業の部分で企業誘致ということばを入れるべきとのご意見をいただいております。そのようなご意見を承っていきたく考えます。本日の会議の進め方についてでもお話をさせていただきましたが、この場については事務局からいただいた意見に対してお話をすることはせずに承るといふかたちで進めて行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

**杉臣会長** そうしましたらお手元に配布の22の施策について何かご意見はありますでしょうか。

**委員** 施策について直接関係無いことなのかもしれないけれど、コロナという大変革の時にですね。コロナ禍におけるテレワークというような状況でこのまま計画をつくって10年後、5年後に対応できるのだろうか。この大変革を加味する必要があるのではないかと。これは産業革命以来の大変革であるから、このご時世を表現することが必要。予測はできないのだけれども。その辺はどうですか。

**事務局長** コロナ禍における今の産業、経済、暮らしだとかということ要素として加味した方が良いのではないかといいことよ。

**委員** テレワークとか。

**事務局長** 仕事の仕方についてとか。

**委員** 予想は出来ないにしても、この辺の状況を少し入れておかないと。これからどうなるのか

わからないよ。だけれどもこの状況をまったくスルーしてしまうような書き方をしても良いのかなど。個人の考え方だから、皆さんがどう言うかは分からないけれど。

**杉臣会長** 例えば施策の産業の振興に関する部分でそれに配慮した施策何かを入れるとか。

**委員** 教育に関しても色々と変わっていくだろうし。具体的には言えないけれど、触れておかないと。文言だけでもいいから、こういう状況にあってということばを入れておかないと。

**事務局** お答えしないと言っておきながらお答えしますが、総合計画の前段に最近の情勢、とりまく環境ということを明記する箇所があります。ここではお示しをしていないのですが、今、ご意見のあったことについては、その情勢の中でコロナ禍の状況ですとか社会の激変する状況について、国においては市町村業務のICT化を進めるうごきでソサエティ5.0という方針を示していますので、そのようなことも大まかではありますが触れていく考えは持っています。ただ、この施策の中で1つひとつコロナの影響で変わっていくことにどう対応していくかについての記載は難しいので、その前段の部分で補っていければと考えているところです。この施策については5年の計画になります。前期5年で、後期計画は5年後にこの前期計画を総括、反省をしたことを基に5年後に作成することになり、合わせて10年。5年、5年に分けて計画を作成します。

**委員** そのようなことで触れてくれれば良いと思う。これを見ると触れていないから。それではあまりにもと思ったものだから。

**杉臣会長** それでは一括してご意見をおうかがいするのも意見を出しづらいと思いますので分野ごとにお聞きしていくということにしたいと思います。それではお手元の資料の最初から3ページ、「社会教育活動の推進」「幼児・学校教育の充実」「スポーツ活動の推進」の教育関連の施策について何かご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

**委員** 2ページの(4)高校の魅力ある学校づくりという部分で、その上に幼児から高等学校生徒までとあるが、子どもたちが選んでくれるというような、ただ魅力ある学校づくりではなくて、地元の子どもたちが通学してくれるような学校づくりというか、表現は良くないかもしれないけれども、そのような高校であって欲しい。地元の子どもたちが行きたいと思うような学校づくりを。せっかくお金をかけているのだから無駄にならないような施策にしてほしい。

**事務局長** 子どもたちの目線でということですね。

**委員** 子ども目線でもそうだし、本当に財政が厳しいよと言っている、計画の中でも言っているのであれば、もう少し違う使い方が出来るのではないかと。

**事務局** 承ります。

**杉臣会長** 途中で申し訳ありませんが退席します。

**北谷会長職務代理者** それでは変わりました私が議事を進行させていただきます。①から③までの施策についてご意見をおうかがいします。何かございますか。

無ければ次に進めます。「農林業の振興」「商工業の振興」「観光の振興」この3つについて、何かご意見はありますか。

**委員** 前にも言わせてもらったのだけれども、地域で働く場所があって、そこに人がいて、家族があって人口が維持されるということが基本ではないかと思う。今まで企業誘致ということばが書いてあったのだけれども、今回の計画には記載が無いということで、やはり企業誘致ということで企業に来てもらう、これは難しいことかもしれないけれど、ここに書いて常にアンテナを張りながら、そういう情報があったらキャッチするとか。そういう意識を持っていないとだめだと思うので企業を誘致していくことを。足寄さんでは企業を誘致した。可能、不可能なことはあるけれどもアンテナを張るという意味でもしっかりと明記して意識として持つておかないと困る。

**北谷会長職務代理者** 何か誘致する企業、本別にはこのような企業が良いのではないかというも



のが有ればお示しいただければ。

**委員** やはり農業に関係するもの。足寄にも来たように。情報については役場が一番持っていると思う。

**北谷会長職務代理者** 企業誘致ということですね。その他に何かありますか。

**委員** 若い人のことでメディア、テレビよりはSNSによる発信が必要かと思います。インスタグラムとかツイッターですとか。本別のマスコットキャラクター元気くんのSNSを見たのですけれども2013年で更新が途絶えているのです。なので、そのあたりをもう少し活用したら良いのではないかと思います。そういった情報発信も入れるべきかと思います。

**北谷会長職務代理者** その他にございますか。

それでは⑥までを終えます。続いて⑦地域福祉、⑧子育て支援 ⑨高齢者福祉の充実 ⑩障がい者福祉の充実ここまでで、はい、どうぞ。

**委員** ⑦の(1)誰もが安心して心や安らかに暮らすことが出来るように課題解決に向けてと書いてあるのだけれども、例えば「こういうことで解決してほしい」というような、誰もがというのであれば、そういうものを解決するように取り組んでくれるということなのだろうか。

**事務局** そこをめざしていきたいということです。

**委員** ことばだけじゃなくて、ここに記載したということであればそれを進めるという解釈で良いのか。

**事務局** 進めていきたい。

**委員** 進めて行くという事でよいのか。ことばだけで終わるのであれば意味がないので。それができないのでまた持ち越し、持ち越しとなるのではなくて計画を実行に移すような体制づくりであってほしい。

**事務局** はい、承ります。

**北谷会長職務代理者** 全ての項目でそういった部分はあるかと思います。理想的なことが書かれていて、本当に果たしてできるのかという部分については5年後の見直しのときに中途半端になっていないかとか、もっとこのようにやるべきではないかとか、そのように進めて行けるように、発信の仕方、いつでもチェックできるようなやり方で進めていければ良いのではないかという気はしているのです。

**委員** この間の審議会で聞いたときに6次から7次計画になるときに、「出来ないこともあるかもしれないよ」ということが言われていた。出来ないことはそのまま削るかもしれないということでは無くて、きちんと6次で反省をしたうえで、出来ないことをどのように進めていくかを踏まえて考えていかなければならないと思う。そのための7次の計画であると思うのだけれども。

**事務局長** お答えはしませんと言っていたのですけれども、前回、私も事務局からの説明で誤解を生じたかなと思って聞いていたのですけれども、取り組んだけれども出来なかったことを出来ないから諦めるということでは無くて、物理的に時代にそぐわなくなったものなどを指して言っていたので、決して諦めてやめるのでは無くて時代背景や町民ニーズが無いものなどを加味してそれらを6次の計画から見直してそれらを取りやめるという意味であったのですけれども少し説明不足があったかと思います。

**委員** この中でこういうことをやめる、こういうことが合わないとの説明があるのか。

**事務局長** いいえ。

**委員** それではそのまま消えていくということか。

**事務局長** 個別具体的に今は説明できませんけれども、例えばSNSが主流のときに通信手段も変わっているのにまだ続けるのかというものであったり、どういったものがどう消えるのかというところについて、委員が心配されているような、出来なかったその理由について、人の問題

であったり、お金の問題であったりとその要因としてはあると思うのですけれども単純にただ止めるのではなくて、見直した結果、やりかた、方向性を変える。正面突破が難しいのであれば、時間がかかっても迂回をしながら取り進めるだとか、そのような方法もあるかと思います。また、色々ご意見をいただいた中で原課ともしっかり協議していきたいと思います。

**委員** 前回も言ったのだけれども見直しが5年と期間が長すぎる。5年が経つと何のことか思い出せない。やはり最低でも2年ぐらいでやっていかないと。記憶に新しいうちに、タイムリーに変化に対応した捉えをすべき。5年すればガラリと変わっているのに、記憶の新しいうちに、途中で変わっていかないと変化が終わってから、どうだ、こうだと話をしても話にならないということも出てくると思う。PDCAのサイクルをもう少し短くする。5年、10年ではなくて。そういうことをやっていかないと。それは前回でも話をしたことだから良いのだけれど。

**北谷会長職務代理者** その他にありますか。

**委員** ⑧の子育て支援の充実のところ、子育ての関係で色々計画があるのですけれども出生率が少なくなっている、少子化になっているというところで、子どもが生まれたら祝い金を。財政難だという話の前に「出産してくれて、子どもを産んでくれてありがとう」というものがあったとしても良いのではないかと思います。地元で使える商品券なりを考えていけないのだろうか。せつかく計画を立てるにあたって、7次でやっと出来たよと。アンケートでの要望を広げようということ支援することがあっても良いのではないかと思う。

**北谷会長職務代理者** 具体的な支援方法についてありますか。

**事務局** 今のところありません。コロナ関係での子育て世帯への支援策はありますけれども。それは一時的なものですので、いただいたお話を担当課に伝えるといった話にさせていただきたいと思います。

**北谷会長職務代理者** 他町村と比較して本別も過疎の町なのですが、出生率が極めて低い、他町村と比較して低いということがあると思うのですね。なぜ、そういうことになっているのかということと、どうすれば少しでも歯止めを掛けられるのか、または伸ばせるのかをこうした計画部分に入れられるのか、そのような施策が必要となってきたのかなと思いますけれどもね。施策の中で進めていただければと思います。

子育ての関係は他にもよろしいですか。続いて高齢者福祉の関係でありますか。

無ければ次に障がい者福祉の関係でありますか。

**委員** 障がい者雇用の充実を図りますというところで役場の方でも障がい者雇用を考えているのですか。

**北谷会長職務代理者** 国で障がい者の雇用率というものを定めていますから最低以上の雇用率を確保していくという事は役所として守っていかなければならない立場にあると思います。後はこの雇用率を民間にまでどのように伸ばしていくかということに行政として関わっていく必要かになってくるかと思う訳ですけれども。

**委員** これも計画だけで終わらせず、取り進めていただきたい。福祉のまちであるからなおさら。

**北谷会長職務代理者** 今、本別町は障がい者雇用率はクリアできているのですか。

**事務局長** 以前に議会の一般質問で取り上げられたことがありまして、その雇用率をお答えしているのですけれども、個人情報もあるので誰がとまでは把握しておりませんがクリアしていると答弁しています。

**北谷会長職務代理者** 行政関係で国の定めたライン以上の雇用率があるということが必要であると。それをクリアしてはじめて民間に対しても指導できるということになるかと思うので、この辺は自らが示してやっていかないといけないという事だと思っております。障がい者雇用の関係は重要だと思いますので進めていただきたいと思います。

特になければ次の健康・医療について何かございますか。

無ければ続いて防災対策。今日の新聞には「避難指示」に統一するという方向で「避難勧告」は廃止して「指示」1本にするというような報道がされていました。統一されることによって避難遅れ、迷いということが無くなるという気がします。関連して本別町の防災の関係がどのように進むのかを見ていきたいと思えます。

防災関係が無ければ次に進みます。消防・救急体制。数値目標で300人以上が救命講習を受けるとなっていますが、実際にできるのでしょうか。

**事務局** 中学生や高校生を含めて実績はあると認識しています。

**北谷会長職務代理者** 人口が減少していく中で毎年300人ずつ実施すれば、10年で3,000人が受講することとなる。

消防の関係で無ければ次に防犯体制に移ります。この防犯には交通安全も含まれています。ありませんか。無ければ交通網についていかがでしょうか。

**委員** 3番の本別ジャンクションについて。本別公園に行ったら釧路ナンバーの車が多くて、ここに来る人はやはり高速道路で釧路から本別に来られるというメリットも多々あると思う。そういう意味で交通アクセスを良くしていくことは重要。そういう中で北見から来て本別には降りられないという現状があり、本別で降りられるようになれば本別公園を訪れる人が増えるかもしれない。ですから観光と交通がリンクする中で国にもう少しはたらきかけて実現に向けて要望してほしい。

**北谷会長職務代理者** その他にありますか。

続いて循環型社会の推進。本別町はゴミの収集関係、リサイクルでは進んでいるのでさらに進めるということになるかと。(いいですか) はい、どうぞ。

**委員** 2022年にプラスチックゴミの収集方法が変わるかもしれないということで、今月に政府から発表があったのですけれども法律が改正されたら検討するというようなことを一文入れておいた方がよいのではないかと思います。

**北谷会長職務代理者** その他にございますか。

なければ次に上下水道環境の充実。

人口が減っていく中で水の需要も低下していくというような状況だと思います。本別の水は美味しいとは言えないと評価がされているのですけれども、施設更新の時期と合わせながら、美味しい水を確保していくことが必要だと思います。本別町の水がおいしいというイメージになるように。本別の水は高いというイメージはあるのですけれども、美味しいというイメージは無いものですから。

続いて住宅環境の充実。数値目標では空き家の戸数を減らすという考え方のようですが、これを取り組むとなると大きな金額になると思いますので、具体的に何戸出来るのか分からないのですけれども。ここの黒丸のところに数字が入るのですね。(そうです) はい、よろしく願いいたします。

次に生活・衛生環境の充実。無ければ⑭番開かれた町政の推進。ありませんか。

それでは最後、行財政改革の推進。これはすごく大きな数値目標になっているのですが、公債費9.4%を減らします。それから将来負担比率30.1%を減らします。今、コロナの関係で負担が大きくなろうとしている中でこの数値で良いのかと言われるのではないかと思います、いかがなものでしょうか。

**事務局** 来年度の国からの交付税は本年度並みではないかという見込みではあるのですけれども、その翌年からはコロナの影響もあり、かなり厳しいことも予想されます。あと、町道民税の関係では農業の方はこれからの農作物等の生育状況によって変わってくるのですが、商工業ではあきらかに収入が落ちていることから町税の収入が見込めないとの予測をしています。ですから、おっしゃる通り数的には厳しいと思えますが、向こう5年間の財政状況のシミュレーション

をしまして、それに対応できるかどうかを検討していきたいと思いますので、財政当局と数値について、ご指摘の部分について考えて行きたいと思います。

**北谷会長職務代理者** はい、どうぞ。

**委員** 財政の状況を考えるとき、一番財政を逼迫させているのは病院の関係だと思うのですね。新改革プランとか管理計画とかということで、きちんと計画だけで終わらせず、財政を圧迫させないように、赤字を減らせるような計画に変えていただかないと、財政が逼迫していく一方だと思います。

**北谷会長職務代理者** 総合計画をつくるにあたって、そこが大前提。大きなハンディを背負うのではないかと思うのですね。せっかく良い計画を立てても金がないと。マイナスになってしまっているから、あれも出来ない。これも出来ないとなる可能性があると思うのです。それを全て5年後に見直したときに、これは財政が悪いから出来なかったと反省がされたということで終わらないように、やはり目標を立てた以上は少しでも前に進むべきで、計画を推進して行くようにしていただきたいと思います。今よりも後退する可能性が最近の新聞報道ですとかテレビでも財政がものすごく悪化して単年度で100兆以上も赤字国債が発行され、来年度もさらに発行されるのではないかという話の中で借金1,100兆円がさらに、1割、2割と増えていく状況ですから。そのような心配があるので、我々の総合計画も後退しないように、少しでも前に進むような計画の推進をして行きたいと思います。

あと、全体を通して何かありますか。

**委員** ふるさと納税について触れられていませんが。

**北谷会長職務代理者** そうですね。いかがでしょうか。

**事務局** そうですね。追加記載を検討していきたいと思います。

**北谷会長職務代理者** ふるさと納税を少しでも増額していただきたいと、アイデアを出して寄付金をいただけるように工夫していただきたいと思います。

あと全体を通してございますか。

ほぼ、予定時間内に協議すべきことは終わったのですけれども次回に向けて事務局より願います。

## (5) その他

**事務局** 様々なご意見ありがとうございました。少し整理をしましてお返しをしていきたいと思っています。次回の審議会につきましては8月お盆明けに開催させていただきたいと考えておりまして、また、ご案内をさせていただきます。これまでの意見をまとめたものをその審議会前にお送りして、見ていただきたいと思いますが、一度に送りますと見ていただく時間も取れないと思いますので、作成できた資料から少しずつお送りしていきたいと。例えばこの施策をこれまでの意見を盛り込んだ中で作成できましたらお送りするとか、そのような形で進めて行ければと思いますので、よろしくお願いいたします。

先ほど委員さんから意見のありましたコロナ禍の状況ですとか、これまでの情勢についても作成しまして、総合計画の構成についても見ていただきたいと思いますので、順次、お送りして、沢山のご意見をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

**北谷会長職務代理者** 全体を通して特に無ければこれで終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

はい、それでは大変ありがとうございました。本日の会議を終了します。ご苦労様でした。